

科目名	建築概論	英語科目名	Introduction to Architecture		
開講年度・学期	平成 27 年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科 1 年		
授業形態	講義	必修 or 選択	必修		
単位数	2 単位	単位種類	履修単位 (30h)		
担当教員	建築学科全教員	居室 (もしくは所属)	建築学科棟		
電話	本多(内 838)	E-mail	y. honda@小山高専ドメイン		
授業の到達目標	授業到達目標との対応				
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準	
	1. 生活と建築のかかわりを知ることができる	③			
	2. 文化としての建築を知ることができる	③			
3. 「建築物を造る」を理解することができる	③				
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法					
1, 2, 3 は小テスト、レポートの内容および中間試験、定期試験の結果により評価する。					
評価方法					
小テスト、レポート評価 (70%) と定期試験(前期中間、前期定期、後期中間、年度末)評価 (30%) とする					
授業内容					
1 回目	ガイダンスと建築学科の紹介				
2 回目	街にある建物とその構成				
3 回目	安心して暮らせる建物や街をつくるために				
4 回目	自然と建築、建物内の環境				
5 回目	学内の建物を見る				
6 回目	改修された建築学科棟				
7 回目	建物と災害				
8 回目	中間試験				
9 回目	建物を長く使うために				
10 回目	建物の建設にかかわる人				
11 回目	建物の変遷				
12 回目	建物の変遷				
13 回目	世界遺産と建築				
14 回目	知っておきたい近代建築				
15 回目	ものづくりとしてのコミュニケーションツールー図面ー				
16 回目	建築とコンピューター				
17 回目	建築の計画 1				
18 回目	建築の計画 2				
19 回目	室内空間計画(インテリア)				
20 回目	建築の構造 1				
21 回目	建築の構造 2				
22 回目	建設現場を見学する(建物改修)				
23 回目	中間試験				
24 回目	建築の設備 1				
25 回目	建築の設備 2				
26 回目	建築の設備 3				
27 回目	建物の構法				
28 回目	建物の生産形態				
29 回目	建物の維持管理				
30 回目	建築学体系				
キーワード	建築計画、建築構造、建築設備、環境、建物の生産、維持管理、建築史				
教科書	構造用教材(構造、構法関係の時間に使用)。その他、必要に応じてプリントの配布。				
参考書	新版 図説建築用語事典(実教出版)				
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目	—				
現学年の関連科目	創造演習 I、フロンティア技術入門				
次年度以降の関連科目	建築を学ぶすべての科目に関連。				
連絡事項					
建築に関連する知識を深めるため日頃から周囲の風景や建築物に気を配るように心懸ける。					
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 20 日				